

文藝春秋の新刊
4月5日発売
1700円＋税

帰還

なぜ友は死んだのか。
三重県四日市の工業地帯で新聞記者が溺死。事故か、自殺か、他殺か。同期三人が真実を追う。



文藝春秋

堂場瞬一 著

どうばしゅんいち

著者略歴:1963年茨城県生まれ。2000年『8年』で第13回小説すばる新人賞を受賞しデビュー。著書に「刑事・鳴沢了」、「警視庁失踪課・高城賢吾」、「刑事の挑戦・一之瀬拓真」、「警視庁追跡捜査係」、「アナザーフェイス」、「ラストライン」、「警視庁犯罪被害者支援課」の各シリーズのほか、近著に『焦土の刑事』『宴の前』『白いジオラマ』『ピーク』『ザ・ウォール』など。

「あいつに何があったか、俺たちは知っておくべきじゃないか」
入社して三十年――工場夜景の撮影中に、東日新聞四日市支局長の藤岡裕己が水路に転落して志望。警察は事故死と判断したが、本当なのか。藤岡とともに新人時代を三重県で過ごした同期三人が、真相究明に乗り出す。編集委員の松浦恭司、初の女性役員になりそうな高橋歩美、なぜか出世ルートをはずれた本郷太郎は、それぞれ家族の問題でも悩みを抱えていた……。

著者インタビュー、書評などご検討ください！

[お問い合わせ先]株式会社文藝春秋

プロモーション部 電話:03-3288-6142 mail: pr@bunshun.co.jp